

小白川地区

住みたくなるまち 天狗の里 小白川

【2030年の将来像】

- ・やまがた百名山に選定され、来訪客が増加しつつある地域の宝「天狗山」の魅力を改めて見つめ直し、地区民はもとより、来訪客との交流など地域内外の人々が集い、語り合える交流拠点を整備し、それを核とした地域活性化を目指す。「天狗のように鼻高々と誇れる地域」に！
- ・子ども獅子の育成など伝統芸能の継承に注力し、次世代へ大切につないでいく。
- ・地域に暮らす人々が、支え合いながら健康で安心して暮らせる地域をつくる。



【地区の概要データ】

(令和2年4月1日時点)

人口 男271・女267 計538 世帯数161 集落数7 高齢化率39%

【現状と課題】

- 暮らしへの支援が不足しており不安を感じている
 - ・ 除雪への不安
 - ・ 買い物する場所が少なくなった
- 活気、にぎわいがなくなってきている
 - ・ 地域内の交流機会の減少
 - ・ 人口減少
- 道路・隘路問題
 - ・ 県道長井飯豊線の隘路解消
- 獣害問題(クマ、イノシシ)

【地区の資源・宝物】

- ・ 天狗山(やまがた百名山)
- ・ 獅子まつり
- ・ スポーツを通じた地域の団結
- ・ 小白川神社
- ・ 豊かな森林
- ・ 広大な畑地(野山)
- ・ 子どもたち
- ・ 第二小学校
- ・ 水

【地区の将来像を実現するための重点事業】

事業概要	第4次 総合計画 との関係	地区の役割	行政の役割	場所
みんなが集う拠点づくり ・小白川地区公民館を中心とした拠点づくり、機能拡充 ・天狗山を活用した地域活性化 ・桜の植樹 (SDGs: 11、15、17)	新規 継続	区民会や公民館を中心に体制・環境を整える。郷土料理加工所の整備 天狗山案内人の育成	関係各部署とのパイプ役 外部への発信 「天狗山登山」をふるさと納税体験型返礼品に設定	小白川地区 公民館周辺 天狗山周辺
伝統芸能の継承 ・獅子まつり ・子ども獅子育成の継続 (SDGs: 11、17)	継続	獅子連を中心に子ども獅子の育成をする	情報発信	小白川神社 周辺
人とのつながりで安心した暮らし ・除雪体制を整える ・買い物支援 ・郷土料理づくり人の育成 (食事(弁当)の提供、レシピの開発、登山客など来訪者との交流など) (SDGs: 3、11)	新規	・NPOとの連携 ・消防団・民生児童委員との連携 ・スーパー等の調整とPR ・集落コンビニ	除雪対策への環境整備 移動販売への財政支援	小白川全域
健康づくりで寝たきり予防 ・軽スポーツの普及(体を動かす習慣づくり) ・運動教室の開催 ・地区民登山 ・かんじきウォーク ・散策コース、サイクリングロードづくり (SDGs: 3、11、17)	新規	・体協やNPOとの連携 ・白樺地区公民館 ・奉賛会	講師派遣 情報提供、助言	小白川全域

【アクションプラン】

アクションプランのテーマ・内容	第4次 総合計画 との関係	実施時期	実施主体
1.【自分たちの手で誇れる地域をつくろう】 組織体制の構築	新規	令和3年度	小白川区民会 (仮)拠点づくりプロジェクト委員会
重点事業、アクションプランを実行し、魅力ある地域をつくるため、地域内組織体制について検証し、必要に応じて組織体制の見直しや構築を行う。			

2. 【みんなが集う拠点づくり】 天狗山を活用した地域活性化と交流促進	見直し	令和3～12年度	小白川区民会 (仮)拠点づくりプロジェクト委員会
拠点施設やその周辺の環境整備、登山マップルート調査・資源調査、登山道や看板等の維持管理、登山者の分析を行う。拠点施設は既存施設を活用し、直売や休憩所から試行する。地域産品を活用した加工場など必要に応じた改修、整備。			
3. 【みんなが集う拠点づくり】 天狗山登山や交流イベントの開催	継続・見直し	令和3～12年度	小白川区民会 (仮)拠点づくりプロジェクト委員会
地区民登山や地域外の方を対象とした登山イベント(山や森、文化を学びながら歩くイベント等)を開催する。また、日にち限定茶屋(仮)や交流の場を設け、登山者との交流を図り地域活性化に繋げる。地域住民が積極的に関わることにより郷土愛を育む。			
4. 【みんなが集う拠点づくり】 天狗山案内人の育成	新規	令和3～12年度	小白川区民会 (仮)拠点づくりプロジェクト委員会
天狗山や地域の勉強会をしながら、天狗山案内人を養成し、後世に語り継ぐ。			
5. 【伝統芸能の継承】 子ども獅子育成講座の備品・体制整備、 情報発信	継続	令和3～12年度	小白川獅子連
心の拠りどころとなっている伝統ある獅子舞文化を末永く守り伝えるため、子ども獅子育成講座の備品整備、人材の確認・確保、獅子雑学情報を共有する。 今の時代に合った練習方法と披露の場の提供、活動記録写真等。事業検証・活動記録は毎年度実施。			
6. 【にぎわい創出プロジェクト】 獅子まつりによるにぎわいづくり	新規	令和3～12年度	小白川区民会 小白川獅子連 (仮)にぎわい委員会
小白川出身で町外在住の方にダイレクトメールなどを送り、獅子まつりへの参加を呼び掛け、にぎわいの創出を図る。また、会場で子どもたちが楽しめるような雰囲気づくりをする。縁日、屋台、売店などを充実させる。			
7. 【人とのつながりで安心した暮らし】 除雪体制の整備	新規	令和3～12年度	(仮)くらし助け隊
NPOや消防団、民生児童委員と連携し、安心して生活できる除雪体制の基盤を整えていく。			
8. 【人とのつながりで安心した暮らし】 買い物支援	新規	令和3～12年度	小白川区民会 (仮)くらし助け隊
小売店が少なくなったため、移動販売車(食料品・日用品)を呼び込む。地域拠点の活用を模索する。訪問日等のスケジュール調整や地域の意見集約を実施。「地域通貨」の活用を検討する。			
9. 【健康づくりで寝たきり予防】 毎日できる体力・筋力づくり	新規	令和3～12年度	小白川区民会 ほのぼのサロン (仮)いきいき委員会
野山など地域の地形を活かしたウォーキングコースの設定など継続して運動できるしくみづくりを検討する。「日常の生活+α」自宅でもできる体力・筋力づくりに取り組む。また、天狗山への地区民登山やかんじきウォークなど地域資源を活用しながら楽しめるイベントを開催する。			

10. 【クマと共生するモデル地域づくり】 クマドッキリ作戦	新規	令和3～12年度	小白川区民会 (仮)くらし助け隊
小白川には豊かな森林があり、クマの出没が多い。住民が安心して暮らし続けるために、町や専門機関等の協力を得ながら、野生動物と共生できる仕組みを研究する。(長野県軽井沢町の事例「ベアドック」「学習放獣」や、「山際の地域でクマが寄り付きにくい作物を栽培」「山にクマの食べ物になる木を植える」など)			

【地区間連携事業】

事業概要	連携地区	当該地区の役割
ホタルの里づくり	中、萩生、椿、手ノ子地区	先進的な取組事例を参考に勉強会を立ち上げる。
天狗山マップ作成・資源発掘	椿地区	歴史文化の発掘と、次代へつなぐ資料作成
水仙ロード	手ノ子、椿地区	手ノ子、椿地区への働きかけ
白椿地区公民館の改修	椿地区	町への働きかけ
地区の資源を組み合わせた観光ツアーの企画運営	椿地区	連携の推進
田園散居集落を維持するための環境整備活動	萩生、黒沢、東部、椿地区	連携の推進

【地区の土地利用の基本的な考え方】

明治初期から昭和初期にかけ、多くの参拝客が遠方から天狗山を訪れ、小白川地区は、現在の一の鳥居付近を中心に旅館を始めとする様々な商店が立ち並び賑わいを見せていた。2019年に小白川地区のシンボルともいえる天狗山が「やまがた百名山」の選定を受けたことで、登山客の増加が見られることから地域活性化の糸口としたい。

地元食材を使った郷土料理加工所を作り、食を通して魅力を伝える。そして、料理の得意なおばあちゃん達の活躍の場をつくることで、女性の積極的な参画を促す。

また、獅子舞などの伝統文化は、古くから多くの地区民に愛され、地区外からの注目も高まってきている。将来的な文化継承に役立てるために、子ども獅子学習会の後押しを行い、地元出身者へPRチラシなどを配信するなど、まずは獅子舞ファン（関係人口）を増やしていく。ボランティアなどから協力・参加を促し、担い手不足解消・関係者の誇りにつながっていくような関係を築いていきたい。

以上のことから、地区の拠点小白川公民館周辺と考え、郷土料理加工施設や広場を活用した桜並木の植樹など、拠点を中心に町と連携を取りながら地域活性化を目指していく。